

Event-Based Education活動報告書

報告書記入者名	國分 洋	所属・役職	アンチ・ドーピング部会 副部長	
競技種目	スピードスケート			
競技会名	2024/25 全日本ノービススピードスケート競技会 富士吉田大会			
活動日時	2025年1月18日 15時00分～19時00分、1月19日 8時00分～11時30分			
活動場所	富士急ハイランドコニファーフォレスト セイコオーパル			
ブース活動者	氏名		所属・役職	
	國分 洋		(公財)日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会副部長	
	三宮 恵利子		(公財)日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会委員	
	黒岩 敏幸		シンボルアスリート	

参加人数

主な参加者 例) 大会参加アスリート、観客 等			大会参加アスリート、サポートスタッフ、保護者、観客					
	アスリート		サポートスタッフ (指導者・NF・チームスタッフ)		その他 (観客・ボランティア等)		日別合計	
1日目	45	人	3	人	23	人	71	人
2日目	14	人	1	人	18	人	33	人
3日目		人		人		人		人
総計							104	人

※JADAのクイズテンプレートを使用した場合、スタート編・ステップアップ編の合算数を記載ください。

概要報告

<実施内容> 活動内容、タイムスケジュール、配布物 等

富士急ハイランドコニファーフォレスト セイコオーパルエントランスにブースを設置、ノービス選手とその保護者を中心に、クリーンスポーツクイズ スタート編を実施、さらに同会場で練習を行っていたスピードスケート大学生選手にもクリーンスポーツクイズ ステップアップ編を実施し、加えてアンチ・ドーピングに関する情報提供を行った。

<会場の雰囲気、ブース設置場所の適正>

山梨県スポーツ協会の協力により、ブースを受付前に設置することが出来たことで多くの関係者に声をかけることができた。
選手が友達を誘って来てくれたり、保護者が積極的に参加してくれ、アンチ・ドーピング教育に対して積極的に参加していただける雰囲気であった。

<良かった点・課題>

シンボルアスリートとして黒岩敏幸さんが協力してくれたことにより、選手はもちろんコーチなどのスタッフにも協力していただけることができた。
ノベルティグッズ等があると参加した記念として印象が残りやすいと感じた。

<現場で受けた質問・回答>

①	質問	栄養ドリンクは使ってはダメか。
	回答	栄養は基本的に食事で摂取していただくよう説明した。
②	質問	アレルギーの薬を飲んでいるが、大丈夫か。
	回答	薬の確認を行っていただく。JADAの資料を紹介した。
③	質問	
	回答	

<その他>

■クリーンスポーツ啓発ページの配布があれば、(印刷)部数についてもご報告ください:

報告書提出方法: 本シートを更新の上、上記写真3枚程度と一緒に
JADA事務局: JADA-Education@playtruejapan.org までお送りください。
注) アウトリーチプログラム終了後、5日以内にご提出をお願いします。

写真①



写真②



写真③

